



第381号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



丁寧ていねいに生きるい



カット：本多紘子

秋もいよいよ深まり、灯火親しむ季節となりました。新型コロナウイルスのインド変異株による第5波の感染流行も峠を越えたようで、ワクチン接種の人が増え効果が効き始めたようです。皆様、お元気ですか。

今年の夏は猛暑の時に東京オリンピックピックが開催され、新型コロナウイルスの感染対策と暑さ対策に選手達だけでなく、大会関係者も大変だったようです。オリンピックが終わると台風の停滞で長雨となり、お盆も雨で驚きました。8月25日からパラリンピック東京大会が始まり、台風や秋雨前線で大関係者は頭を悩まされたことでしょう。新型コロナウイルスの流行で、1年延期された東京五輪とパラリンピックですが、大会開催には夢があったと喜ぶ人やコロナ感染の規制が緩んだり食品や医療品の大量廃棄があり開催に疑問を持った人もいて、複雑ですね。

9月3日に、新型コロナウイルス対策や東京五輪・パラリンピックの開催を推進してきた菅義偉首相(72)が就任1年で退陣する意向を示し、9月30日の自民党総裁選に急遽、出馬しないことになり驚きました。菅首相は経済回復に軸足を置き過ぎ、新型コロナウイルスの感染リスク対応が甘かったとして、支持率を下げました。また国民に丁寧な説明を尽くさぬ姿勢に、自民党内からも「菅離れ」が加速したようです。

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

飛鳥時代に活躍した聖徳太子は、17条憲法をつくり、仏教の精神である「和」を大切にしながら政治を治めました。10人の人が同時に話しても、すべての人の話を聞いて完全に理解していたという逸話もあるぐらい、他人の話に聞く耳を持ち、丁寧に説明をしたからこそ、皆に慕われたのですね。「和をもって貴しとし、忤うことなきを宗とせよ」と始まる17条憲法の第1条ですが、お互いの心が和らいで協力することが貴いのであって、むやみに反抗することの無いようにせよという意味です。つまり人は多様な考え方をしているのです、丁寧な説明を骨身を惜しまずすることが、人に慕われる近道だとあるのです。

アメリカの巨大企業に成長したインターネットで有名なグーグルの最高責任者に43歳の若さで抜擢されたインド人のピチャイは、南インドの普通の家庭で生まれ、勉強が出来たのでインド工科大学を卒業後に米スタンフォード大学院に留学しました。2004年にグーグルに入社し、わずか11年目にして最高責任者に選ばれたのですから驚きですが、インドは約13億6千万人の人口を抱え、公用語は22言語もあり、宗教はヒンズー教が一番信仰されていますが、イスラム教、キリスト教、シーク教、ジャイナ教、仏教、ゾロアスター教なども信仰されており、多種多様な考え方や生活習慣が身に付き、他の人の意見を尊重しながら自分の考えを主張したので信頼が集まったそうです。

ドイツのベルリンで小説家の多和田葉子さんは、多様性が目に見える社会になって欲しいと願っています。例えば雑草も昆虫も、その虫の種類が減っていけば、自然全体の健康が蝕まれていく。人間社会についても同じようなことがいえます。いろいろな人たちが共存できる社会の方が、本当は生きやすいのですと発信しています。

結婚している人も、独身の人も、離婚した人も、ゲイの人も、レズビアンの人、貧困者も、障害者も、高齢者も普通に当たり前に生きられる偏見無き社会が、多様性国家なのだろう。合掌(奥原 曇龍)

『いろいろな人や生き方あればよい 心とらぐ社会を目指そう』 どんりゅう

日時・十月 十一日「月曜日」 午後一時半から四時まで。

仏教講話『歎異抄(たんにしょう)から学ぶ』

場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、
お寺についてもっと知りたい方

[心光寺](#) [倉敷](#) [検索](#)



カット：奥原 綾

ともしび説法



お釈迦様ものがたり

お釈迦様が35歳で覚りを開いた後、故国のカピラ城を訪問し、父のストドーダナ(浄飯王)を始め、多くの釈迦族のために法を説かれたのは、いつ頃のことであろうか。

原始経典には、その年代については何も述べていません。また仏伝類でも、その説がまちまちで一致するところがないのです。

パーリ語仏典の伝記によれば、お釈迦様が覚りを開いて仏陀になられたことは、父王にもやがて伝わり、お釈迦様に対して、故国に帰って説法することを願う王の使者は、お釈迦様がマガダ国・王舎城の竹林精舎におられるところに、派遣され、その派遣された使者たちが、お釈迦様の説法を聞いてそのまま出家し、修行のために自分の使命を忘れるということが何回にも及んでいました。9回目かに派遣されたお釈迦様の幼友であるウダーイーも、お釈迦様の説法によって出家修行し、阿羅漢となったが、その後自分の使命を思い出し、お釈迦様に父の使命を伝えました。

そこでお釈迦様は、多くの比丘(僧侶)たちを連れ、途中60由旬(約600キロ)を毎日1由旬ずつ歩き、2ヶ月を要して、成道後2年目の4月頃に釈迦国のカピラ城に行かれて、滞在8日にして再びマガダ国に帰られたとあります。

他の仏伝では、父王は第1年にペナレスの鹿野園に向け、使節を使わしたとあります。また他の仏伝では、成道後6年目にウダーイーを派遣し、このとき故国訪問がなされたとしています。さらにまた別の伝では、コーサラ国の首都に祇園精舎が立てられた後に、故国を訪問されたという説もあります。

お釈迦様は成道後の45年間に、故国に数回は訪問されています。それは、当時の強国であったコーサラ国と釈迦国が近く、マガダ国からの布教のたびに、故国のカピラ城に立ち寄ったと想像されます。合掌 (奥原豊彦)

秋深し鐘の音ひびく夕空に ともしび明かり心を照らす 田辺多恵子



9月25日 総代さん達による仏具磨き

ともしび法話

秋空高く風そよぐ季節です。皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年は彼岸花が綺麗に咲き、目を楽しませてくれました。夏に雨が多く、例年より涼しかったからかな。お寺も11月3日の秋の報恩講法要の準備で、気が抜けません。秋の法要はどなたでもお参り下さいませ。

心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

先日は「ともしび」をまとめた本を送って下さり有り難うございました。私にも理解出来やすい教えの内容で楽しく読ませて頂いています。心に寄り添う優しいお言葉の文書に心から感銘しております。感謝。

総社市西郡 劍持 武子

11月3日、心光寺の秋の法要を楽しみにしています。新型コロナで午前の催し物が無くなり、大変寂しいことですが、早く催し物も復活出来ることを願っています。

倉敷市藤戸天城 福原 浩子

秋法要親鸞聖人偈(びつ) 亡き妻と共に心光寺参り

倉敷市中島 山田 孝治

ともしび説法

日時・十月 十一日「月曜日」 午後一時半から四時まで。

場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて

電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定

十一月 三日(水)・午後一時から午後四時頃・早高の本堂。

秋の法要・報恩講義式と仏教講演「親鸞聖人と聖徳太子」

十二月 七日(火)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。

☆『ともしび』を平成24、26年、平成27、29年、平成30、令和2年と三年ごとにまとめて本としました。毎月1回のお寺の新聞が本となって、過去の忘れていたニュースを思い出し、人生を振り返れますよ。まとめた本が欲しい方は実費でお分け致します。



10月の詩

10月が来たよ 秋がどんどん深まっていく 一つのまにか山も紅葉している 憂いにつつまれた人生の旅 エツと驚くような突然の悲しみ おそれ おののく出来事も それを通して人が人となる



カット:吉岡美枝

◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。

倉敷市 森嶋様 3千円
総社市 劍持武子様 5千円
倉敷市 藤原力様 山口県 奥原ヒサコ様 1万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。

〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「381号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。自動車の送迎が必要な方は、心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦